

自治体向け窓口申請業務電子化サービス

Speed Entry® Government

自治体さまにおけるさまざまな課題を受け開発したSpeed Entry® Governmentは、シンプルな構成にすることで、現業務との親和性が高く、住民・職員の方がカンタンにお使いいただけるサービスです。

Speed Entry® Governmentとは

おくやみ関連の申請手続きにおいて、紙の申込書が中心の申請手続きを、タブレットを中心とした申請手続きに変えるサービスです。

おくやみに関連する申請手続きを対象にしており、タブレットに申請情報を入力することで、この内容を電子データ(CSVファイル)として保存することができます。利用シーンとしては、住民の来庁時に、庁舎内の窓口にて対面でご利用いただくサービスとなります。

Speed Entry® Governmentのポイント

必要な手続きのガイド機能や、入力負荷の軽減や入力ミス・入力漏れの防止に加え、導入時の検討ハードルを下げることを目的としたさまざまな機能を提供します。

各種手続きをより便利に安全に、専用アプリによるデジタル申込サービス

必要な
手続きがわかる
**手続き
ガイド機能**



多岐にわたり複雑な手続きの中から、自身に必要な手続きをカンタンな質問に回答することで洗い出すことができます。

手書き入力による
**デジタル
デバイス対応**



手書き文字認識機能によりソフトウェアキーボードの扱いに不慣れた住民の入力負荷を軽減します。

QRコード※
による
データ連携



LGWAN内にシステム改修することなくデータ連携が可能です。また、オフライン※で運用できるため、セキュリティの検討ハードルを低く抑えられます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。 ※手続きガイド機能をご利用の場合はiPadをオンラインでご運用いただく必要があります。

窓口における課題の解決策

庁内		
記載台	窓口	
遺族 職員 step1 記入	遺族 職員 step2 受付 / 確認	職員 step3 パンチ入力
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故人ごとに必要な手続きがわからない。また、そのサポートが大変。 ●複数の書類を記入する場合、氏名、住所等の基本情報を何度も記入する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民の方の記載内容の不備確認と、書き直しに手間がかかる。 ●このため窓口での手続きにかかる時間が長くなり住民満足度が下がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹業務システムへの入力作業に時間を割かれ、時間外勤務が発生している。
<p>課題解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カンタンな質問に回答することで必要な手続きが洗い出せます。 ●共通情報は1回の入力のみです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入力時のエラーチェックで不備率が低減します。 ●入力漏れをゼロにできる画面構成です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タブレットに入力した情報をCSVデータで保存可能です。CSVデータをご活用いただくことで入力作業の低減に寄与します。

Speed Entry® Government

機能詳細

機能一覧

タブレットアプリ(iPad)

手続きガイド機能

必要手続きの洗い出し

はい・いいえなどの回答形式のカンタンな質問にこたえるだけで、故人の状況に応じた必要手続きを洗い出すことができます。

手続きガイドで洗い出した申請手続きが、Speed Entry® Governmentに対応している場合は、続けて申請情報をご入力いただくことも可能です。

申請手続き入力機能

おくやみ申請情報の入力 証明書発行受付

- ・おくやみ関連申請手続き(19種に対応)
- ・各種証明書発行受付(戸籍・住民票etc.)
- ・入力情報の途中保存・再開

おくやみ関連の申請情報をタブレットに入力することができます。また、証明書の発行受付については、申請情報の入力に加え、「何を何枚、必要であるか」を入力することで発行受付ができます。タブレットに入力した情報はQRコードを出力することで途中保存・入力途中から再開することが可能です。

各種出力物

出力機能

申請情報の出力

- ・各種QRコード(申請・途中保存)
- ・簡易帳票
- ・申請書様式(オプションでのカスタマイズ対応)

遺族が入力した内容を暗号化し、QRコードを出力します。簡易帳票は項目+入力内容を1行に入れたかたちの簡易的なものになります。ご要望に応じて申請書様式に合わせて1から開発することも可能です。

※申請書様式に印字する対応はオプションでの対応となりカスタマイズ費用が別途かかります。

PCアプリ(Windows)

QR読取・編集機能

申請情報の読取・編集 編集情報のQR保存

- ・申請QRコードの読取
- ・申請情報の編集
- ・CSV保存

職員がお使いのパソコンでQRコードを読み取ることができます。読み取った内容は画面上で編集することができます。また、読み取った情報はCSVファイルとして復元しますので後続の事務などでご活用いただけます。

画面イメージ

手続きガイド機能 必要手続きをカンタンに洗い出す

故人の状況に合わせて必要となる手続きを、カンタンな質問に回答することで洗い出すことが可能になります。洗い出した手続きの中にSpeed Entry® Governmentが対応している手続きが存在する場合は、そのまま情報の入力に進むことが可能になります。



手書き入力機能 入力操作は紙への記入と同じ利用感で

iPadアプリには手書き文字認識機能を搭載しています。ソフトウェアキーボードの扱いに不慣れた遺族でも直感的に扱うことができるため、入力負担を軽減します。このような観点からデジタルデバイスにも対応した電子化サービスとなります。



申請手続き機能 死亡手続きに関連する証明書の発行依頼にも対応

死亡関連手続きに付随する申請書についても必要な証明書の種類と発行部数を選ぶことで、発行依頼を受け取ることができます。



QR読取機能 住民が入力した申請情報をセキュアに職員が使うパソコンに連携

職員はパソコンに接続したリーダー機器でQRコードを読み取ります。このことでタブレットから、オンライン接続によりサーバを介することなく申請情報(個人情報)を職員のパソコンにセキュアに取り込むことが可能です。



申請手続き機能 メニューから任意の申請手続きを選べる

対象となる申請手続きをメニュー画面から選ぶことが可能です。見やすいメニュー画面で手続きを探す際のわかりづらさを解消します。



入力情報の引継ぎ機能 1度入力した内容は共通する項目に引き継げる

遺族が同じ内容を何度も入力する手間を削減できます。1度入力した内容に近い入力項目が登場した場合に、入力済みの情報の引継ぎ有無を確認し、「はい」をご選択いただくことで、入力の手間を省略します。



出力機能 入力した申請情報はQRコードに加え、帳票を出力

遺族が入力した申請情報は暗号化したQRコードで出力します。これを窓口の職員が読み取ることで申請情報をパソコンに取り込むことができます。また、自治体さまの運用に応じて紙の帳票(簡易帳票または所定の書式※)を出力することも可能です。簡易帳票は署名の印字にも対応します。



※所定の書式はオプションにてご提供いたします。

申請内容編集機能 申請情報をパソコン上で確認・編集

QRコードを読み取った内容を専用のWindowsアプリ上で確認することができます。万が一、誤りがあった場合はPCの画面上で申請情報の編集が可能です。



※手続きガイド機能をご利用の場合はiPadをオンラインでご運用いただく必要があります。※本機能をご利用の場合は別途Graffer手続きガイドの契約が必要となります。※手続きガイド後にSpeed Entry® Governmentでそのまま入力を行う場合は手続きガイドの設定が必要となります。